

Pioneer

パイオニア株式会社

本社サイトレポート 2013

～環境保護活動報告書～



目次

1. 本社サイト概要	2p
2. 環境マネジメントシステム	3p～4p
3. 製品環境活動	5p
4. 事業所環境活動	6p～7p
5. 2012年度 環境会計	8p
6. 社内環境教育、訓練	9p
7. コミュニケーション、社会貢献	10p

※集計範囲について

本報告書のデータ集計期間は2012年度(2012年4月～2013年3月)ですが、イベントなどはその期間に限らず、できるだけ最新の日付で開催されたものを掲載しています。

1. 本社サイト概要

[会社]

商号 パイオニア株式会社
PIONEER CORPORATION
創業 昭和13年(1938年)1月1日
設立 昭和22年(1947年)5月8日
資本金 87,257百万円(2013年3月末現在)

[本社サイト]

住所 〒212-0031
神奈川県川崎市幸区新小倉1-1
電話 (044)580-3211(大代表)
敷地 38,758 m²(未利用地含む)
延床面積 49,882 m²
従業員数 2,450名(2013年3月末)

(パイオニア株式会社本社部門のほか、
関係会社及び関連団体組織を含みます)

開設 平成19年(2007年)4月

[主な事業]

車載用・家庭用・業務用製品の製造販売

- ・カーエレクトロニクス事業
カーナビゲーションシステム、カーオーディオなど
- ・ホームエレクトロニクス事業
BD/DVDプレーヤー、AVコンポーネント、DJ機器など
- ・その他事業
システムソリューション、有機EL、家庭用電話機など



カーナビゲーションシステム



AVコンポーネント



DJプレーヤー



電子黒板

2. 環境マネジメントシステム

環境方針

パイオニア株式会社はグループ全体で環境方針を定めています。

パイオニアグループ 環境保護の理念

「パイオニアグループは、地球環境を維持、改善し、次世代に引き継ぐことが企業の使命の一つであることを深く認識し、常に豊かで安全な環境の実現に寄与するよう努めます」

この環境保護の理念に基づき、事業活動で影響を及ぼす地域のみならず、地球規模での環境問題と関連する下記の4項目を重要と認識し、継続的に改善をします。

1. 地球温暖化防止

事業活動ならびに製品のライフサイクルに起因するエネルギーの使用と温室効果ガスの排出を削減する努力をします。

2. 省資源と資源循環

事業プロセスでの材料・水などの資源の使用を減らすとともに、資源の循環を可能な限り推進します。

3. 化学物質の管理

使用する化学物質の確実な管理を行ない、有害な可能性のある化学物質は継続的な削減・代替に努めます。また化学物質の利用にあたっては汚染の予防に努めます。

4. 生物多様性の保全

地球上の野生生物、森林、海洋などの生態系を保全し、生物多様性を維持することが重要と考え、自然環境保護への建設的な行動をします。

環境保護活動を推進するにあたっては、次の4つの基本姿勢で臨みます。

5. 法規制の遵守

適用を受ける環境法規制を遵守しつつ、必要に応じて自主管理基準を定め事業活動を行ないます。

6. 情報開示とコミュニケーション

環境に関する情報をステークホルダーに提供し、広く社内外からの意見を尊重して、環境活動に活かします。

7. 環境教育

環境保護を意識し、行動に結びつけることのできる人材を育てることを目的とした環境教育を推進します。

8. 社会貢献

良き企業市民として、より良い地球環境及び地域環境の実現につとめ、社会の発展に貢献します。

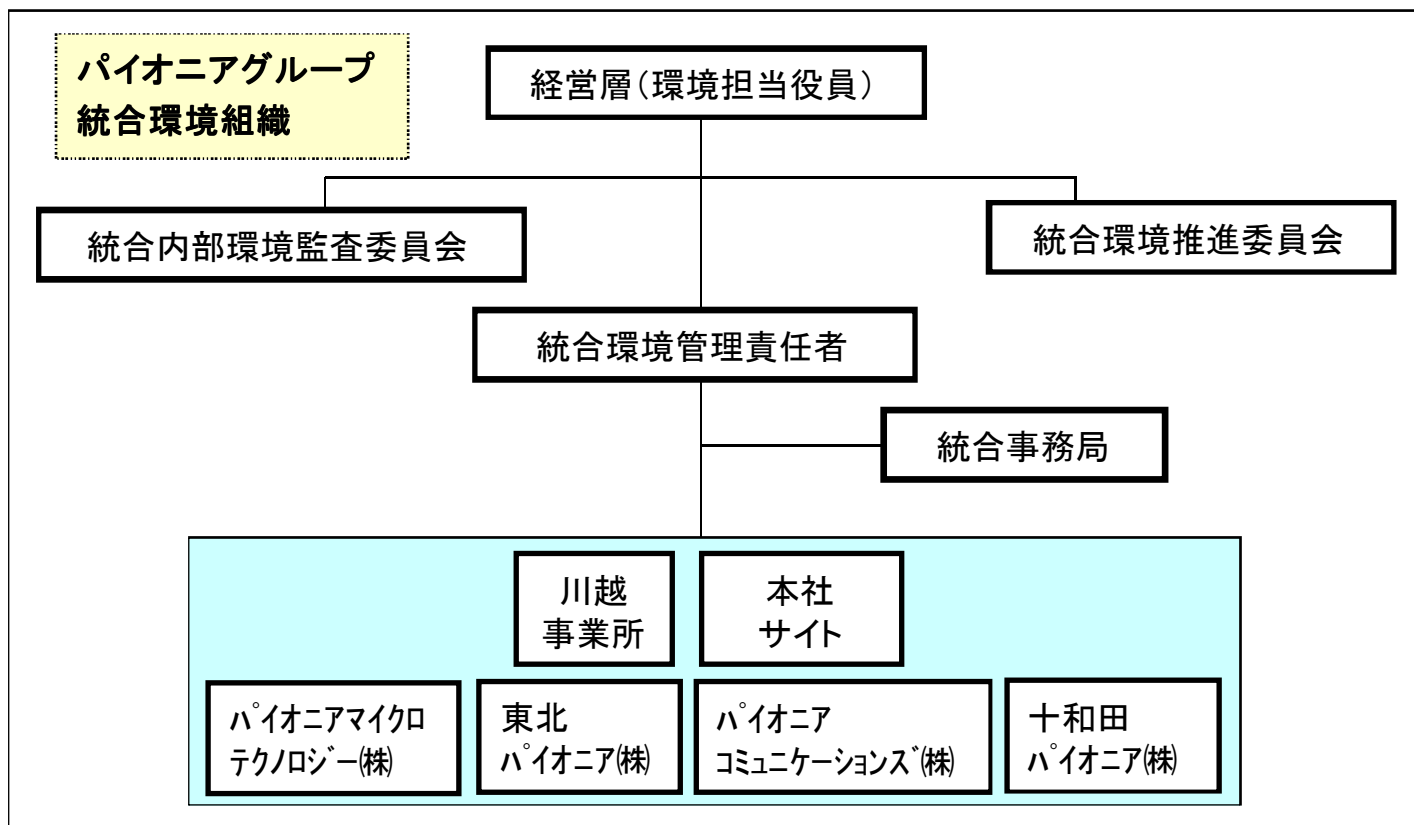
2013年4月16日

パイオニア株式会社 環境担当 執行役員 齋藤 春光

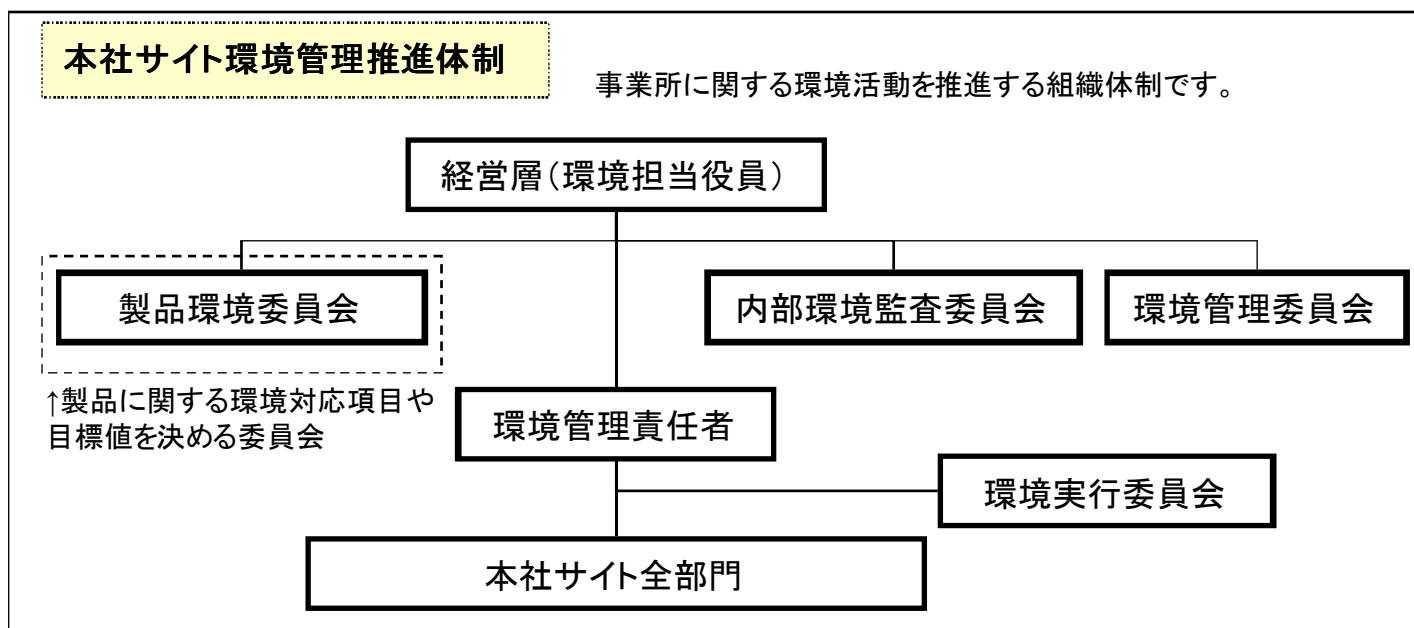
2. 環境マネジメントシステム ～続き～

ISO14001国内統合認証の取得

パイオニア(株)は2007年8月に本社と各事業所のISO14001統合認証を取得しました。さらに2009年9月には国内グループ会社を含めた統合認証を取得し、パイオニアグループ全体としての環境マネジメントを強化しました。



本社サイトはこの統合環境組織の一員として、「本社サイト環境推進体制」を構築し、環境目標を定めてPDCA(Plan - Do - Check - Act)を回した活動を推進し、環境活動の継続的改善を図っています。



3. 製品環境保護活動

本社サイトで開発・設計しているパイオニア製品については、省エネルギーをはじめ、環境配慮設計を推進しています。またVOC(ホルムアルデヒドやトルエン等の揮発性有機化合物)削減や、ハロゲンフリーへの対応、植物由来樹脂の使用、など、最先端の環境技術にも取り組んでいます。

製品アセスメント

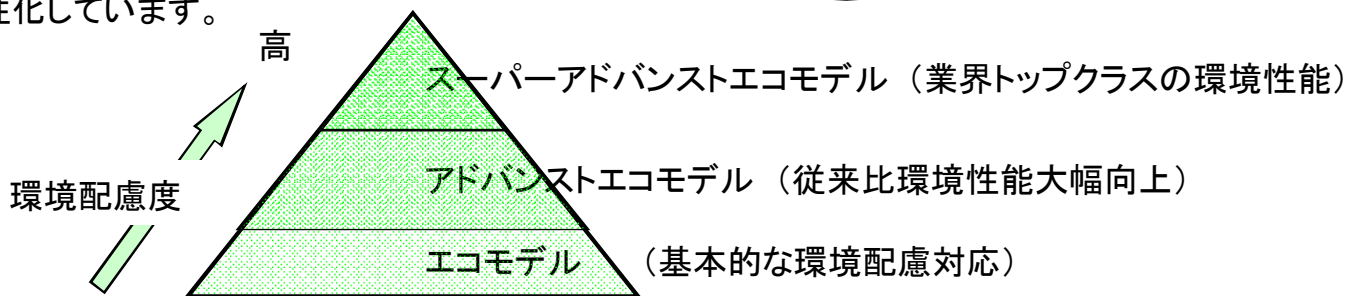
製品を開発・設計する際には、全ての機種で「製品アセスメント」を実施しています。製品アセスメントとは製品設計の各段階で環境配慮項目を設定し実施するものです。各段階では右記のようなアセスメントチェックリストにて環境配慮対応を確認しています。

アセスメントチェックリスト(一部)

- ・使用禁止環境負荷物質が使われていないこと
- ・重金属含有電池を使っていないこと
また正しい表示をしていること
- ・梱包材にリサイクル関連表示を正しく行なっていること
- ・省エネルギー設計をしていること
- ・取扱説明書等には再生紙を使用していること
- ・製品のリサイクル可能率、分解時間が
目標を達成していること

環境配慮製品の評価体系

またパイオニア独自で環境配慮項目を評価する制度を導入し、環境配慮製品の開発を活性化しています。



◆本社サイトで設計されたスーパーアドバンストエコモデルの例



AVマルチチャンネルアンプ
(エコモード搭載、低消費電力、製品サイズのスリム&コンパクト化による輸送積載効率向上)



ピュアモルトスピーカー
シリーズ
(再生材料使用)

◆本社サイトで設計されたアドバンストエコモデルの例



ワイヤレススピーカーシステム
(待機時消費電力0.5 W以下、オートスタンバイ機能搭載、リサイクル材~パルプモールド~を梱包材に使用)

CDJプレーヤー

(待機時消費電力0.5 W以下、オートスタンバイ機能搭載、輸送時の梱包重量削減)



パソコン用BDDライター

(製品本体、付属品、梱包材に植物由来の樹脂や塗料を使用)



ブルーレイディスクプレーヤー

(消費電力削減、待機時消費電力0.5 W以下、オートスタンバイ機能搭載、製品の軽量化、梱包材にリサイクル材使用)



4. 事業所環境活動

2012年度 事業所環境負荷相関

本社サイトでは、下図のように、様々なエネルギーや資源が投入され、CO₂や排水、廃棄物が排出されます。



電気：電力会社からの購買電力
重油：非常用発電機の燃料
ガス：都市ガス、厨房のみで使用
水道：上水道、主に厨房、洗面、トイレで使用
ガソリン：社有車で使用
OA紙：プリンタ用紙、コピー用紙

CO₂：電気、重油、ガス、水道、ガソリンの使用に伴って発生する二酸化炭素
排水：事業所からの生活系排水
一般廃棄物：産廃以外、主に生ゴミ、紙ゴミ
産業廃棄物：廃棄物処理法で規定されている物
有価物：再資源化する物、紙類、金属類、樹脂類等

2012年度 事業所環境目標管理

本社サイトでは、環境目標として、電力削減・廃棄物削減に取り組み、何れも目標を達成しました。

課題	年次目標	実績	実績－目標	評価
電力使用量の削減	年間 電力使用量 843 万kWh 以下	813 万kWh	▲ 30 万kWh (4 % 減)	達成
廃棄物排出量の削減	年間 廃棄物排出量 324 t 以下	281 t	▲ 43 t (13 % 減)	達成

4. 事業所環境活動 ～続き～

環境保全活動 ―電力―

省エネ活動例

2012年度は以下のような様々な節電活動を前年に引き続き実施しました。

<通期>

- ・廊下等の照明間引き
- ・オフィス照明の基準内での照度低下
- ・昼休み、不要時の照明消灯
- ・自動販売機の台数削減及び機内照明消灯
- ・一部エレベーター完全停止
- ・PCやディスプレイの省電力モード

廊下
ブラインド



<夏期(COOL BIZ)>

- ・空調温度設定の集中管理[室温28℃設定]
- ・カジュアルウェアの推奨
- ・ブラインドによる遮光
- ・自動販売機の夜間運転停止

<冬期(WARM BIZ)>

- ・空調温度設定の集中管理[室温20℃設定]
- ・暖かい服装の推奨

自販機
照明消灯



環境保全活動 ―廃棄物―

リサイクルセンターでの解体分別

本社サイトでは開発・設計業務に伴い製品の試作品が多数製作されます。これらが不用になったときは、事業所内の専属メンバー(リサイクルセンター)により解体され、原材料ごとに分別を行い、有価物として業者に引き渡されています。このようにして積極的に廃棄物のリサイクルを推進しています。



5. 2012年度 環境会計

パイオニア(株)は、環境省発行の『環境会計ガイドブック2005年版』をもとに、当社独自の「パイオニア環境会計ガイドライン」を制定し、1999年以降、グループ各社で集計を行っています。

[単位:千円]

2012年度 環境コスト				
分類		内容	設備投資	費用額
1	事業エリア内コスト		0	6,828
内訳	1-1.公害防止コスト	なし	0	0
	1-2.地球環境保全コスト	なし	0	0
	1-3.資源循環コスト	産業および一般廃棄物処理委託費用	0	6,828
2	上・下流コスト	なし	0	0
3	管理活動コスト	ISO14001認証費用、運営費、環境推進部門人件費等	0	66,076
4	研究開発コスト	地球温暖化対策に寄与する新商品の研究開発費用等	60,071	441,592
5	社会活動コスト	なし	0	0
6	環境損傷コスト	なし	0	0
合計			60,071	514,496

2012年度 環境効果		
分類	内容	効果額
1 環境保全による効果(省エネ、公害防止など)	電力購入費用前年度との差額	5,629
2 資源循環による効果(省資源、リサイクル、廃棄物処理など)	有価物売却益(リサイクルセンターにおける分解分別、全社員による分別の徹底)	5,065
3 上下流効果金額(調達、生産、物流、グリーン購入)	なし	0
4 その他の効果(1.2.3.以外の効果)	なし	0
合計		10,694

6. 社内環境教育、訓練

(1) 重油漏洩対応訓練(非常用発電機)

2011年7月に本社サイト西側敷地に非常用発電機を設置したことに伴い、燃料の重油が漏洩したことを想定しての対応訓練を、毎年実施しています。訓練の結果、重油が外部へ流出しないように、A重油貯蔵ヤード内のピットを最初に閉めるよう手順の見直しを行いました。



給油時漏洩時の訓練

タンクからの漏洩時訓練

(2) 廃棄物処理業者視察

本社サイトで契約している廃棄物処理業者への現場視察を実施しました。これは廃棄物処理法で（努めなければならないと）規定されている事項で、2012年度は、2社について実施しました。本社サイトから排出される廃棄物がどのように処分（リサイクル）されるか、法律に則った適正な処理がなされているか、現場の整理整頓状態はどうか、など、パイオニア独自のチェックリストに基づき確認を行っています。



(3) e-ラーニングによる従業員環境教育

本社サイトの従業員全員に対して、パソコンを利用した(e-ラーニング)環境教育を実施しました。2012年度は、パイオニアの製品の環境対応の紹介とグリーン購入をテーマとした教育を実施しました。教育は、テキストを読み、理解度テストに合格することで受講修了となります。受講率95%以上を達成し、従業員の環境意識向上を図ることが出来ました。




2012年の“スーパーハードドライブエコモデル”認定製品を紹介します。

カロッツェリア カーオーディオ PRS-D700

Car AV系製品では初の認定！

【環境配慮ポイント】
 ①ハードウェアの省電力化、低電圧化を達成
 大電力の消費を抑えることにより、以下の効果
 ・省電力化による省エネ効果（省電力1.8倍向上）
 ・CO₂削減率 60.5pp→40.5pp 33.1%削減（8年間削減）
 ・燃費改善率 3.65L→2.44L 1.21L削減
 （燃費改善率向上による燃料費削減効果）
 ・高品質音源の再生範囲による省燃費（省燃費1.5倍向上）
 ・CO₂削減率
 315g→150g 52.6%削減
 ※当製品はPRIS-08700



**搭載車ガソリン削減
商品輸送燃料削減
省エネ（CO₂削減）**

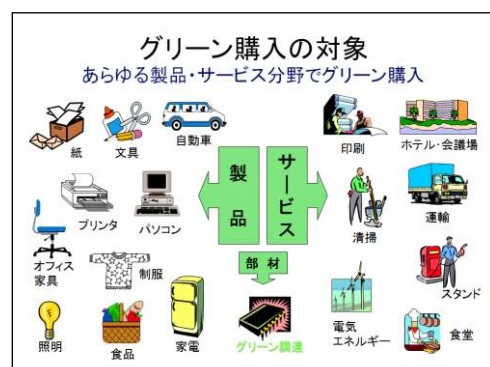
カロッツェリア サイバーボード AVIC-VH99HDSH シリーズ

継続的改善によりさらにエコが強化！

【環境配慮ポイント】
 ①ハードウェアの省電力化、低電圧化を達成、文部科学省「エネルギー省減型」認定製品
 ・省電力化による省エネ効果（省電力1.8倍向上）
 ・CO₂削減率 18.1%→10.0%削減率約 44.8%削減
 ・燃費改善率 3.65L→2.44L 1.21L削減
 （燃費改善率向上による燃料費削減効果）
 ・高品質音源の再生範囲による省燃費（省燃費1.5倍向上）
 ・CO₂削減率
 315g→150g 52.6%削減
 ※当製品はPRIS-08700



**搭載車ガソリン削減
省エネ（CO₂削減）**



7. コミュニケーション、社会貢献

(1) 近隣清掃活動

本社サイトでは事業所近隣の通勤路の清掃活動を年間4回実施しています。(2012年度第2回目は雨天中止。)特に年度初めの第1回目は、「パイオニアゴミゼロ1stクォーター」と銘打ったパイオニアグループ全体の清掃活動の一環として実施しており、例年、清掃範囲をJR新川崎駅・JR矢向駅まで拡大しています。2012年度は年間延べ159名が本活動に参加し、タバコの吸殻、菓子袋、空き缶、空き瓶、ペットボトルなどのゴミを年間合計68kg回収しました。



(2) こども環境展に出展

パイオニアは2012年10月28日に川崎市幸区役所主催の「幸区子ども環境展」に出展しました。この催しは、幸区誕生40周年を記念したもので、子どもたちの環境体験を豊かにし、環境意識を高めることを目的とした体験型イベントです。幸スポーツセンターを会場として開催され、幸区に所在する企業や、NPO、市民活動団体、行政など多数の参加がありました。



(3) パイオニアの森

パイオニアは春と秋の年2回、埼玉県鎌北湖付近の「パイオニアの森」で森林保全活動を行っています。2012年10月の第14回の活動には、41名の社員とその家族が参加し、午前と午後両方を使って、樹木の間伐を中心に作業を行いました。当森林保全活動は埼玉県の森林CO₂吸収量認証制度において、CO₂吸収量69.9トン-CO₂/年と認証されています。





私たちは地球温暖化防止国民運動、
チャレンジ25キャンペーンに参加しています。



本報告書に関するご意見・お問合せ先

パイオニア株式会社

人事総務部 総務部 社会環境推進室

〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1-1

TEL 044-580-3211(代表)

環境保護ホームページ

<http://pioneer.jp/environment/index.html>

環境保護についてのお問い合わせホームページ

<https://www3.pioneer.co.jp/support/contact/environment.html>

発行: 2013年10月

© Pioneer Corporation 2013